



TCU-COM

- ▷01 後援会長挨拶
- ▷02 平成21年度 評議員会が開催される
- ▷03 平成20年度 事業報告
- ▷07 平成20年度 決算
- ▷08 平成21年度 役員・評議員
- ▷09 平成21年度 事業計画
- ▷10 平成21年度 予算
- ▷11 Campus Topics
- ▷15 平成21年度「大学と保護者との連絡会」のお知らせ

後援会長挨拶

このたび、高瀬前会長から後援会長を引継ぎました。

本年度は、東京都市大学への名称変更に伴い、後援会も名称を変更。本会誌名もMI-COMからTCU-COMに変更しました。また、大学には新たに等々力キャンパスの2学部が新設され、後援会の会員数も7000名を越える規模になりました。保護者の皆様には日頃の後援会活動

へのご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

さて、一昨年のアメリカのサブプライムローン問題が昨年9月のリーマンブラザーズ破綻を引起し、これにより、ここ数年に亘る好景気が一転して100年に一度と言われる急激かつ急激な世界的な景気後退の事態となりました。現在、来年度の大学卒業者の就職内定率は昨年の半分以下と非常に厳しい状況にあり、ここ暫くは、企業の新卒採用数も低迷が続くと予想されます。一方、卒業時に正規社員に採用される機会を逃すとその後非正規社員から正規社員になるのは非常に難しくなるという報告も出されています。

私は、2008年1月発行のMI-COM No.37で学生諸君に思うところを述べさせていただきました。すなわち、好景気の就職環境に油断することなく、二度と経験できない学生時代に、学生の本分である勉学に励むこと、強い体力と良好な人間関係を構築する術を身につけること、グローバルな視点で活躍できる準備を始めること、をお願いしました。

経済環境が大きく様変わりしまして、上記の思いをより一層強くしていますが、更に、インターンシップへ積極的参加、および最終年度には卒業研究とともに粘り強い積極的な就職活動を行い、充実した悔いの無い大学生活となるように、最大限の努力をお願い致します。



東京都市大学後援会
平成21年度会長

井上 淳

平成21年度 評議員会が開催される

東京都市大学に校名が変更されて初めての評議員会が、役員・理事 33 名（内委任出席 10 名）評議員 99 名（内委任出席 23 名）の 132 名、加えて、顧問 1 名、後援会事務局 11 名の出席のもとで開催されました。

評議員会の開催にあたり、高瀬会長より、挨拶並びに後援会の概要説明があり、続いて後援会事務局から事務局体制、平成 21 年度の後援会入会者数及び会員数について説明があった後、議事に入りました。

議事は議案ごとに事務局より説明・提案され、その後、この説明に基づいて審議した結果、すべての議案が原案の通り承認されました。評議員会終了後、白木副学長より後援会への謝辞と、大学の近況報告がありました。



審議風景（世田谷キャンパス312教室にて）



左より、議事を進める高瀬会長・井上副会長・平井副会長・平井学生部長



白木副学長の挨拶



評議員会に先立ち水素バスの見学会が行われた

東京都市大学後援会 平成21年度評議員会

平成21年5月30日（土）午後2時30分
世田谷キャンパス312教室（五島記念館1F）

1. 開会の辞 高瀬会長
2. 平成 21 年度後援会入会者数及び会員数について【報告】
3. 議 事
 - 第 1 号議案 平成 20 年度 事業報告について
 - 第 2 号議案 平成 20 年度 決算報告について（緊急奨学金含む）
 - 第 3 号議案 平成 21 年度 役員・評議員(案)について
 - 第 4 号議案 平成 21 年度 事業計画(案)について
 - 第 5 号議案 平成 21 年度 予算(案)について（緊急奨学金含む）
 - 第 6 号議案 校名変更に伴う会則改正について
4. 報告事項
 - 1. 緊急奨学金の現状報告
 - 2. 平成 21 年度「大学と保護者との連絡会」開催日程（案）
5. 閉会の辞 井上新会長

※第 1 号～第 5 号議案については、次ページ以降を参照
※第 6 号議案の会則改正については、「後援会ホームページ」参照

〈平成 21 年度後援会会員数〉 平成21年4月15日現在

学部	学科	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
工学部	機械工学科		148	136	124	142	550
	機械システム工学科		117	128	80	128	453
	原子力安全工学科		38	34	—	—	72
	生体医工学科		52	47	49	—	148
	電気電子工学科		130	150	106	1	387
	電気電子情報工学科		—	—	—	125	125
	エネルギー基礎工学科		—	—	—	1	1
	環境エネルギー工学科		—	12	85	93	190
	エネルギー化学科		85	80	—	—	165
	建築学科		125	127	114	141	507
	都市基盤工学科		—	—	—	108	108
	都市工学科		94	95	77	—	266
知識工学部	コンピュータメディア工学科		—	—	—	129	129
	電子通信工学科		—	—	—	116	116
	システム情報工学科		—	—	—	110	110
	情報科学科		111	123	94	—	328
環境情報学部	情報ネットワーク工学科		73	71	66	—	210
	応用情報工学科		—	123	91	—	214
	経営システム工学科		77	—	—	—	77
	自然科学科		36	—	—	—	36
環境情報学部	環境情報学科		243	231	217	229	920
	情報メディア学科		253	234	242	295	1,024
	都市生活学部 都市生活学科		196	—	—	—	196
人間科学部 児童学科		101	—	—	—	101	
合計		1,879	1,591	1,345	1,618	6,433	

大学院	専攻	学年	1年	2年	3年	4年	5年	合計
工学研究科	機械工学専攻		27	25	1	—	2	55
	機械システム工学専攻		26	32	2	1	—	61
	電気電子工学専攻		25	88	—	1	3	117
	生体医学専攻		25	—	—	—	—	25
	情報工学専攻		34	—	1	—	—	35
	建築学専攻		32	42	2	1	1	78
	都市基盤工学専攻		28	9	2	1	1	41
	システム情報工学専攻		18	34	2	—	—	56
環境情報学研究科	エネルギー量子工学専攻		24	23	3	1	3	54
	環境情報学専攻		17	27	1	2	1	48
合計		256	280	14	7	13	570	

事業

1. 正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助

<1-1-1> 学生団体連合会援助(一括渡し)

団体名	金額(円)
1 学生団体連合会本部(横浜分室含む)	1,714,667
2 体育会(HP参照)	4,756,249
3 文化団体連合会(HP参照)	2,811,631
4 同好会連合(HP参照)	1,304,919
5 新聞会	96,428
6 吹奏楽団	970,344
7 放送会	783,402
8 MI-TECH 祭実行委員会	2,800,000
9 MI-TECH 横浜祭実行委員会	2,000,000
10 MI-TECH 祭運営委員会	163,500
11 MI-TECH 横浜祭運営委員会	98,860
合計	17,500,000

<1-1-2> 学科研究会等援助

団体名	金額(円)
1 機親会	100,000
2 如学会	100,000
3 環境情報科学学生会	100,000
4 情報メディア科学学生会	100,000
5 ISO学生委員会	100,000
合計	500,000

<1-1-3> 一般援助

団体名	金額(円)
1 学生団体連合会(部室置廃棄処分費用)	60,000
2 学生団体連合会(印刷機導入費補助)	リース年額 317,520
3 学生団体連合会横浜分室(印刷機導入費補助)	リース年額 306,180
4 文化団体連合会(勤学祭ライブの補助)	70,000
5 写真部(4月写真展のみなとみらいギャラリーレンタル代)	26,250
6 ウェスタンクラブ(主催ライブの補助)	50,000
7 硬式野球部(東都大学野球連盟費への補助)	100,000
8 バスケットボール部(チーム登録料、大会参加費等の補助)	7,500
9 水泳部(練習場レンタル料の補助)	42,865
10 ラグビー部(理工系リーグ優勝)	100,000
11 バレーボール部(春季関東大学男子8部リーグ戦にて優勝・昇格)	100,000
12 ソフトテニス部(関東学生春季リーグ戦登録費の補助)	18,500
13 アイスホッケー部(年間リンク使用料の補助)	450,000
14 準硬式野球部(関東地区大学準硬式野球連盟の登録費の補助)	80,000
15 アメリカンフットボール部(スポーツ保険@9,000円の補助)	292,500
16 関東ブロック予選会学生1位・日本選手権出場権獲得	100,000
17 トライアスロン(関東学生選手権出場費用の補助(7月中の1泊))	16,200
18 日本学生選手権出場費用の補助(8月中の4泊)	56,200
19 日本選手権出場費用の補助(10月下旬:日帰り)	7,800
1 水泳部(練習場レンタル料の補助)	38,765
2 ラグビー部(スポーツ保険料の補助)	33,000
3 剣道部(全日本学生剣道連盟登録費の補助)	57,600
4 アイスホッケー部(秩父宮杯関東大学選手権大会C優勝)	100,000
5 (連盟登録料の補助)	45,750
6 電気電子研究会(学術研究発表会の参加費の補助)	5,000
7 吹奏楽団(定期演奏会会場費の補助)	100,000
8 ウェスタンクラブ(主催ライブの補助)	30,000
9 アメリカンフットボール部(選手登録費の補助)	57,750
1 空手道部(空手道選手権大会優勝、その他入賞)	50,000
2 放送会(ミキサー導入の補助)	リース年額 230,328
3 ソフトテニス部(秋季理工系団体戦優勝・個人戦3位)	50,000
4 アイスホッケー部(秩父宮杯参加費の補助)	50,000
5 マンドリンクラブ(定期演奏会費用の補助)	39,300
6 柔道部(武道系団体代表)(武道場掃除用具購入の補助)	53,391
7 硬式庭球部(女子理工団体戦昇格)	100,000
8 トライアスロン(サンライズイタワ竜洋大会出場費用の補助)	33,400
9 (日本学生スプリント選手権出場費用の補助)	19,600
MI-TECHイベントプロジェクトサポート ポートフォリオ研究会	132,073
MI-TECHイベントプロジェクトサポート カーボンオフセットプロジェクトチーム	52,200
合計	3,479,672



<1-1-3> 一般援助: 学生団体連合会/印刷機



<1-1-3> 一般援助: 放送会/ミキサー



<1-1-3> 一般援助: アメリカンフットボール部



<1-1-3> 一般援助: カーボンオフセット

〈1-1-4〉 学生行事援助

行事名	金額 (円)
1 スプリングフェスティバル(4月3日)の運営費の内「北澤豪」講演料の半額を援助	210,000
2 体育会主催のナイトラリー(7月5日)の運営費援助	329,710
3 文化団体連合会主催のバンドフェスティバル(10月5日)の運営費援助	200,000
合計	739,710

〈1-1-6〉 シャトルバス援助

	金額 (円)
課外活動のための運行、週 6 便の経費を援助	1,940,400



〈1-1-6〉 シャトルバス援助



〈1-1-7〉 その他の援助：新校名入りテント



〈1-2-2〉 高瀬会長より後援会長賞の授与

〈1-1-5〉 団体強化援助

強化団体名	金額 (円)
1 ラグビー部	300,000
2 ハンドボール部	300,000
3 アメリカンフットボール部	300,000
合計	900,000

〈1-1-7〉 [その他の援助] 校名変更に伴う援助(平成 20 年度限定)

	金額 (円)
新校名入りテント 4 張 + 旧校名テントの修正 4 張	617,820

(1-2) 学生顕彰

〈1-2-1〉 課外活動奨励賞(2月の学生表彰授賞式にて授与)

団体名	金額 (円)
柔道部 第 49 回 全日本理工科学生柔道優勝大会ベスト 8	30,000
水泳部 第 52 回 東日本理工科系大学選手権水泳競技大会 総合 3 位	30,000
バレーボール部 平成 20 年度 春季関東大学男子 8 部リーグ優勝(7 部昇格)	30,000
アイスホッケー部 秩父宮杯 第 57 回関東大学アイスホッケー選手権大会 C グループトーナメント優勝	30,000
西村 信平 (情報メディア 2年) 空手道部 第 28 回 全国空手道選手権大会 一般男子有段軽量級 3 位	図書券 5,000
細村 洋介 (都市基盤 4年) 硬式野球部 平成 20 年度 東都大学野球 秋季リーグ戦 第 4 部最優秀選手賞	図書券 5,000
渥見 真帆 (エネルギー化学 1年) 硬式庭球部 平成 20 年度 関東理工系個人戦 女子ダブルス優勝	図書券 5,000
浅見 友紀 (都市基盤 3年) 陸上競技部 第 8 回 八大学陸上競技大会 800m 第 1 位	図書券 5,000
小松 巧弥 (環境情報 4年) ワンデリングスキー同好会 第 27 回 長野県知事杯争奪木島平 I C I 石井スポーツカップ第 3 位	図書券 5,000
賞状(個人ガラス盾) 及び 筆耕代	48,825
合計	193,825

〈1-2-2〉 後援会長賞(3月の学位授与式にて会長より授与)

氏名	所属学科	所属団体	役職
1 小海川 亮	機械	放送会	会長 (17年度)
2 穴倉 隆文	機械	新聞会	会長
3 高橋 明弘	機械	学生団体連合会	執行委員長
4 松山 隼也	機械	体育会本部	会長
5 刘 万鑫	機械	世田谷留学生会	会長
6 崎枝 健	機械システム	M.F.A.	会長 (19年度)
7 青山 貴久	電子通信	パチエラー7 / 文化団体連合会	会計 / 音楽企画
8 遠藤 良太	電子通信	アメリカンフットボール部	主将
9 平川 義人	電子通信	放送会	会長 (19年度)
10 片桐 義尊	コンピュータ・メディア	M.F.A.	会長 (18年度)
11 柴田 洗輔	コンピュータ・メディア	水泳部	主将
12 福岡 将樹	コンピュータ・メディア	文化団体連合会	副本部長
13 荒川 峻樹	建築	体育会本部	渉外
14 橋井 美寛	建築	(特別団体)トライアスロン	
15 伊藤 翔太	都市基盤	バレーボール部	主将
16 下村 紘之	都市基盤	体育会本部	副会長
17 村山 徹	都市基盤	体育会本部	渉外
18 山崎 航平	システム情報	同好会連合	会長
19 高辻 信吾	環境エネルギー	体育会本部 / 剣道部	総務 / 副部長
20 渡邊 嘉	環境エネルギー	体育会本部	企画
21 赤尾 健太郎	環境情報	学生団体連合会横浜分室	分室長
22 岩下 賢太郎	環境情報	同好会連合	副会長
23 白坂 僚	環境情報	I S O 学生委員会	代表
24 包 海笑	環境情報	横浜留学生会	会長
25 浜田 愛子	情報メディア	学生団体連合会	執行委員
商品券 20,000 円 × 25 名			500,000
賞状及び筆耕代			19,500
合計			519,500

平成20年度 事業報告

(1-3) 学生生活指導援助

	援助内容	金額(円)
1	全学生団体(クラブ・同好会等)に対し、救命講習会の受講者の講習料の援助	187,000
2	リーダーズ研修会でのテーピング講習会	94,500
合計		281,500



〈1-3〉学生生活指導援助：救命講習会

2. 「大学と父母との連絡会」への援助

地方会場費及び大学会場の保護者昼食代等へ
4,610,520 円の援助

全体総括

- 開催期間 平成20年9月6日～9月27日
- 開催地 全国22会場
- 参加者 保護者合計 1,246世帯(1,757名)
全国各地区会場 373世帯(517名)
東京・横浜会場 873世帯(1,240名)
教職員 41名(全国各地区派遣者)
- 今年度の結果と特徴
 - イ. 在籍者数に対する出席率は21.2%と昨年度並みであった。
 - ロ. 大学会場においては、世田谷キャンパスでは、前年比9.4%増の643世帯、横浜キャンパスでは昨年度並みの230世帯の出席者となった。
 - ハ. 大学会場を除く地区会場については、今年度も対象者の平等性、利便性等を配慮して20会場を設定・実施したが、前年より若干減少し373世帯となった。
- 二. 保護者との懇談では、Uターンを含む就職関係、成績、大学院進学、校名変更が各会場での話題となった。
- ホ. 東京会場及び横浜会場において高瀬会長が後援会を代表して挨拶(9月27日)
- ヘ. 今年度も武蔵工業会(本学同窓会)の地方支部の役員に出席願ひ、各々の地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。
- ト. 後援会の担当地区の評議員の方々に、会の運営等に協力をしていただいた。

〈出席状況〉

開催地	出席世帯数	開催地	出席世帯数	開催地	出席世帯数
札幌	9	高崎	12	浜松	21
仙台	19	新潟	12	名古屋	21
郡山	13	甲府	22	広島	14
水戸	35	長野	16	福岡	17
宇都宮	23	富山	7	松山	2
さいたま	26	金沢	9	鹿児島	10
東京	643	三島	31	合計	1,246
横浜	230	静岡	54		

3. 大学行事への協力

	団体名	援助対象	金額(円)
1	体育祭(5月14日～15日)	体育会	246,000
2	MI-TECH 横浜祭(5月31日～6月1日)	横浜祭実行委員会	1,500,000
3	MI-TECH 横浜祭における研究発表	各研究室	48,698
4	MI-TECH 祭(11月22日～24日)	MI-TECH 祭実行委員会	860,000
5	MI-TECH 祭における研究発表	各研究室	271,873
合計			2,926,571

4. 学生厚生援助

		金額(円)
1	展示用パネル+スタンド(SC・YC各1組)	52,524
2	弓道場(SC6号館屋上)防矢ネット(4面)張替え工事	2,100,000
合計		2,152,524



〈4〉学生厚生援助：展示パネル+スタンド

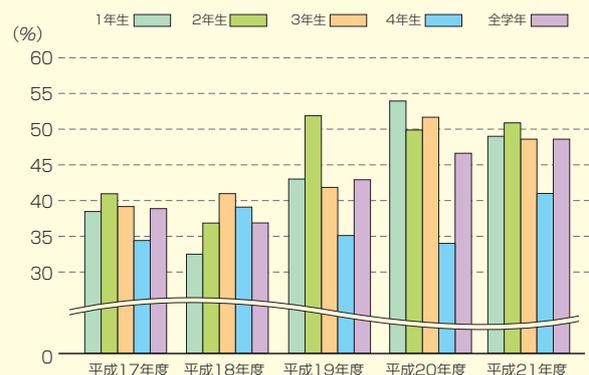


〈4〉学生厚生援助：防矢ネット

5. 会誌の発行

		金額(円)
1	[MI-COM]38号を刊行(8月上旬全会員へ送付)	1,470,000
2	[MI-COM]39号を刊行(1月中旬全会員へ送付)	2,310,000
合計		3,780,000

〈過去5年間の在学生クラブ加入率〉



6. 新入生研修行事（フレッシュマン・キャンプ）への補助

新入生 1,516 名 × 8,000 円 = 12,128,000 円 【実施：平成 20 年 4 月 8 日～9 日】

学 科	実 施 場 所	参加者数(人)	研 修 内 容
機械工学科	長野県 蓼科	156	碓氷峠鉄道文化村・グループミーティング他
機械システム工学科	栃木県 鬼怒川	142	日光東照宮・バレーボール大会他
原子力安全工学科	福島県 楡葉町	47	福島第一原子力発電所他
生体医工学科	千葉県 鴨川	63	亀田メディカルセンター・飯盒炊さん他
電気電子工学科	千葉県 鴨川	165	オリエンテーリング・スポーツ大会他
エネルギー化学科	千葉県 長生	95	東京ガス袖ヶ浦工場・宇部興産千葉石油化学工場・スポーツ大会他
建築学科	新潟県 津南町	135	越後妻有交流館・雪のみらいまち館他
都市工学科	千葉県 木更津	107	首都高川縦トンネル・海ほたる他
情報科学科・情報ネットワーク工学科	千葉県 木更津	224	ポスターセッション・マザー牧場他
応用情報工学科	兵庫県 神戸市	121	松下電器産業神戸工場他
環境情報学科・情報メディア学科	千葉県 南房総市	523	マザー牧場・ミニ運動会・飯盒炊さん他
合 計		1,778	

※参加者数は1年生・上級生・教員の合計数 ※大学からも同じく1人8,000円支出。

7. 就職活動に対する援助（進路適性検査の実施費用援助）

実施日	検査内容	対象	前年度受験者数	本年度受験者数	増加率	単価(円)	金額(円)
4月4日	自己発見レポート	世1年	973人	1,038人	6.7	2,300	2,387,400
4月5日		横1年	458人	459人	0.2		1,055,700
4月5日	自己プロGRESSレポート	世2年	721人	850人	17.9	2,400	2,040,000
4月5日		横2年	415人	413人	▲0.5		991,200
4月7日	キャリアアプローチ	世3年	526人	647人	23.0	1,000	647,000
9月18日		横3年	254人	326人	28.3		326,000
7月11日	SP12模擬試験	横3年	—	210人	—	※500	105,000
合 計							7,552,300

ベネッセコーポレーションの商品を使用 ※半額補助

8. 緊急奨学金制度

【平成 20 年度においては応募者なし】

9. その他

- 平成 20 年度入学式において榎本前会長が来賓として祝辞を述べる
- 平成 20 年度MI-TECH横浜祭において平井副会長祝辞を述べる
- 平成 20 年度「大学と父母との連絡会(大会会場)」において高瀬会長挨拶を述べる
- 平成 20 年度MI-TECH祭に高瀬会長出席
- 平成 20 年度学位授与式において高瀬会長が後援会長賞を授与する
- 東京都市大学グループ誕生記念式典(3月30日)に高瀬会長出席
(平成 21 年度入学式において高瀬会長が来賓として祝辞を述べる)



〈9〉 その他(6)：式典に続きオーチャードホール(渋谷)にて誕生記念コンサートが開催された
Photo: K. Miura

運 営

1. 理事会 (2 回)

第 1 回 平成 20 年 5 月 10 日(土)開催

- 第 1 号議案 平成 19 年度 事業報告について
- 第 2 号議案 平成 19 年度 決算報告について
- 第 3 号議案 平成 20 年度 役員(案)について
- 第 4 号議案 平成 20 年度 事業計画(案)について
- 第 5 号議案 平成 20 年度 予算(案)について

第 2 回 平成 20 年 11 月 22 日(土)開催

- 第 1 号議案 平成 20 年度 事業経過について
- 第 2 号議案 会則・規程の改正について
- 第 3 号議案 新入生に対する学習実態調査費の計上について
- 第 4 号議案 後援会の次年度に向けての運営について
4-1 平成 21 年度後援会主要会議等日程(案)
4-2 平成 21 年度後援会役員・理事・評議員構成(案)
- 第 5 号議案 後援会誌の名称変更について

報告事項

- 平成 20 年度「大学と父母との連絡会」の結果について
- 武蔵工業大学海外研修支援会の発足について
- 緊急奨学金の現状について

2. 評議員会 (1 回)

平成 20 年 5 月 24 日(土)開催

- 第 1 号議案 平成 19 年度 事業報告について
- 第 2 号議案 平成 19 年度 決算報告について
- 第 3 号議案 平成 20 年度 役員(案)について
- 第 4 号議案 平成 20 年度 事業計画(案)について
- 第 5 号議案 平成 20 年度 予算(案)について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせの新評議員の顔合わせ及び説明会を行った。
評議員会終了後には、大学教職員との懇談会を開催した

3. 会計監査

平成 20 年 4 月 19 日(土) 野村、近藤両会計監査により、平成 19 年度の監査を実施。

4. その他

なし

平成20年度 決算

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科目	20年度予算	20年度決算	執行率	備考
(収入の部)	(円)	(円)	(%)	
1. 会費	73,930,000	73,930,000		※1 利息収入
2. 雑収入	145,557	244,441		
3. 前年度繰越金	11,824,443	11,824,443		
収入の合計	85,900,000	85,998,884		
(支出の部)				
事業費	69,328,000	59,822,342	86.3	詳細は事業報告をご覧ください
1. 正課外教育援助費	36,100,000	26,672,427	73.9	
1-1 課外活動援助費	34,900,000	25,677,602	73.6	
1-1-1 学生団体連合会援助	17,500,000	17,500,000	100.0	
1-1-2 学科研究会等援助	2,100,000	500,000	23.8	
1-1-3 一般援助	7,500,000	3,479,672	46.4	
1-1-4 学生行事援助	900,000	739,710	82.2	
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	100.0	
1-1-6 シャトルバス援助	2,000,000	1,940,400	97.0	
1-1-7 その他の援助	4,000,000	617,820	15.4	
1-2 学生顕彰費	800,000	713,325	89.2	
1-3 学生生活指導費	400,000	281,500	70.4	
2. 父母連絡会費	5,000,000	4,610,520	92.2	
3. 大学行事協力費	3,600,000	2,926,571	81.3	
4. 学生厚生援助費	1,000,000	2,152,524	215.3	
5. 会報発行費	4,000,000	3,780,000	94.5	
6. 新入生研修行事費	12,128,000	12,128,000	100.0	
7. 就職活動援助費	7,500,000	7,552,300	100.7	
運営費	8,000,000	7,981,034	99.8	
8. 事務費	4,000,000	4,193,866	104.8	人件費+雑費
9. 会議費	800,000	667,005	83.4	理事会・評議員会等
10. 印刷・通信費	1,000,000	1,101,559	110.2	通知・案内の郵送、印刷費
11. 旅費・交通費	2,000,000	1,712,940	85.6	役員・評議員の交通費
12. 備品費	150,000	252,630	168.4	コピー機リース料
13. 雑費	50,000	53,034	106.1	振込み手数料等
予備費(慶弔費含む)	2,572,000	166,000	6.5	弔慰6件他
特別会計	6,000,000	6,000,000	100.0	
14. 後援会基本積立	0	0	0	積立総額 26,600,000円
15. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	100.0	// 24,000,000円
16. 学生事故対策援助費積立	2,000,000	2,000,000	100.0	// 14,000,000円
17. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	// 5,000,000円
小計	85,900,000	73,969,376	86.1	
次年度繰越金	0	12,029,508		
支出の合計	85,900,000	85,998,884	100.1	

※1 入学総数1,516名 この内の51名が留学生でその内の3名が入金。(計73,400,000円)
更に、2年編入生(@4万)5名、3年編入生(@3万)11名が入金(計530,000円)
留学生については、家計を考慮し会費納入は各自の自由意志に任せている。

平成20年度 緊急奨学金決算

(単位:円)

経常収入の部	20年度予算	20年度実績(決算)
前年度繰越金	13,559,539	13,559,539
緊急奨学金返済収入	6,529,500	1,345,500
利息収入	20,000	18,871
経常収入計	20,109,039	14,923,910
経常支出の部		
緊急奨学金貸付支出	2,680,000	0
貸倒損失	0	0
弁護士費用	0	110,010
雑費	2,000	1,155
経常支出計	2,682,000	111,165
経常収支	17,427,039	14,812,745

平成21年度 役員・評議員

役員 (敬称略)

会長	井上 淳	東京都	エネルギー量子工学専攻	(新)
副会長	平井 忠雄	神奈川県	建築	(再)
副会長	堀内 忠	東京都	情報メディア	(新)
会計監査	近藤 真一	東京都	環境情報	(再)
会計監査	日下部 隆久	神奈川県	建築	(新)
理事	羽室 俊昭	神奈川県	電気工学専攻	(再)
理事	落合 勇	東京都	電気工学専攻	(再)
理事	竹内 清隆	神奈川県	機械システム	(再)
理事	平 博光	東京都	電子通信	(再)
理事	鈴木 博仁	神奈川県	コンピュータ・メディア	(再)
理事	小林 正弘	東京都	環境エネルギー	(再)
理事	荒川 秀雄	東京都	環境情報	(再)
理事	田中 耕一	東京都	機械システム	(再)
理事	鈴木 宏之	福島県	電気電子	(再)

理事	鈴木 誠三	栃木県	建築	(再)
理事	藤井 智俊	広島県	情報科学	(再)
理事	榎本 義己	神奈川県	環境情報	(再)
理事	窪田 法明	東京都	電気電子	(新)
理事	光村 邦廣	神奈川県	エネルギー化学	(新)
理事	笠原 正行	宮城県	都市	(新)
理事	岩瀧 正之	神奈川県	環境情報	(新)
理事	末永 敏男	神奈川県	環境情報	(新)
理事	室本 光敏	東京都	環境情報	(新)
理事	田中 誠	東京都	情報メディア	(新)
理事	丸田 俊哉	神奈川県	情報メディア	(新)

顧問	学長	中村 英夫
顧問	教授	浅野 証世

評議員 (敬称略)

山田 昌義	静岡県	電気工学専攻	(再)
桜井 富美夫	東京都	システム情報工学専攻	(再)
堀口 友四郎	神奈川県	環境情報学専攻	(再)
児玉 雅俊	東京都	電気工学専攻	(再)
永田 浩二	鹿児島県	機械	(再)
林 秀寛	沖縄県	機械システム	(再)
久保田 秀夫	東京都	システム情報	(再)
猪俣 忠雄	静岡県	機械	(再)
深谷 智章	東京都	機械	(再)
鈴木 迭充	神奈川県	機械システム	(再)
久保 清美	福岡県	電気電子情報	(再)
小松 寛	北海道	電気電子情報	(再)
林 孝次	東京都	電気電子情報	(再)
亀井 朗	千葉県	電子通信	(再)
稲川 元	新潟県	コンピュータ・メディア	(再)
熊谷 孝二	宮城県	建築	(再)
酒井 満	福岡県	建築	(再)
大庭 政博	神奈川県	都市基盤	(再)
児玉 厚	茨城県	都市基盤	(再)
津田 博之	神奈川県	都市基盤	(再)
三浦 忍	広島県	システム情報	(再)
井内 敏明	広島県	環境エネルギー	(再)
越谷 健一	群馬県	環境エネルギー	(再)
齋藤 互	埼玉県	環境情報	(再)
荒木 泉	静岡県	情報メディア	(再)
田村 高弘	神奈川県	情報メディア	(再)
岩上 守宏	東京都	機械	(再)
浦田 哲郎	群馬県	機械	(再)
中武 正直	宮崎県	機械	(再)
久保田 和俊	静岡県	機械システム	(再)
星野 順二	福岡県	生体医	(再)
渡曾 英明	神奈川県	生体医	(再)
石名田 広重	富山県	電気電子	(再)

小野田 良夫	静岡県	電気電子	(再)
川俣 光雄	東京都	環境エネルギー	(再)
進藤 俊典	石川県	環境エネルギー	(再)
植村 慶夫	新潟県	建築	(再)
樋泉 由規	山梨県	建築	(再)
畠山 昌志	神奈川県	都市	(再)
渡邊 裕明	埼玉県	都市	(再)
竹内 真一	東京都	情報ネットワーク	(再)
中河 吉秀	東京都	応用情報	(再)
石渡 光夫	神奈川県	環境情報	(再)
阪根 憲司	東京都	環境情報	(再)
小林 裕	神奈川県	情報メディア	(再)
岡崎 章浩	神奈川県	情報メディア	(再)
小林 清	神奈川県	情報メディア	(再)
國見 章	神奈川県	機械	(再)
高嶋 幸夫	茨城県	機械	(再)
岩堀 康広	神奈川県	機械システム	(再)
末永 政人	富山県	機械システム	(再)
打田 達成	東京都	原子力安全	(再)
東 秀行	千葉県	生体医	(再)
小林 興太郎	東京都	電気電子	(再)
伊達 厚	東京都	電気電子	(再)
林田 道弥	神奈川県	電気電子	(再)
河野 哲也	神奈川県	建築	(再)
宮島 治	埼玉県	建築	(再)
加藤 宏	栃木県	都市	(再)
石村 護仁	千葉県	情報科学	(再)
佐田 健二	鹿児島県	情報科学	(再)
佐古 真一	神奈川県	情報ネットワーク	(再)
神之門 栄一	東京都	応用情報	(再)
青木 進	神奈川県	環境情報	(再)
小平 親夫	長野県	環境情報	(再)
大方 俊吾	福島県	情報メディア	(再)

佐藤 達郎	福島県	情報メディア	(再)
中川 高広	神奈川県	機械	(新)
間宮 智子	神奈川県	機械	(新)
井原 博史	愛媛県	機械システム	(新)
山岸 泰三	長野県	機械システム	(新)
菅野 隆治	福岡県	原子力安全	(新)
竹生 敏幸	愛知県	原子力安全	(新)
河合 昌子	神奈川県	生体医	(新)
新井 保彦	神奈川県	電気電子	(新)
長嶋 立典	東京都	電気電子	(新)
安部 総一郎	神奈川県	エネルギー化学	(新)
内藤 原平	神奈川県	エネルギー化学	(新)
中山 和俊	神奈川県	建築	(新)
峰岸 光治	東京都	建築	(新)
菊地 勝	埼玉県	都市	(新)
鈴木 弘美	愛知県	都市	(新)
高山 善匡	栃木県	情報科学	(新)
加茂坂 弘	東京都	情報ネットワーク	(新)
渡井 康郎	静岡県	経営システム	(新)
山田 節	宮城県	自然科学	(新)
遠藤 朋美	東京都	環境情報	(新)
大崎 友秋	神奈川県	環境情報	(新)
柿崎 力治朗	山形県	環境情報	(新)
皆川 宜哉	東京	環境情報	(新)
雨宮 直人	山梨県	情報メディア	(新)
猪俣 一朗	神奈川県	情報メディア	(新)
儀尾 満紀	東京都	情報メディア	(新)
横谷 守夫	静岡県	情報メディア	(新)
大平 貴裕	北海道	都市生活	(新)
佐々木 修司	埼玉県	都市生活	(新)
社本 芳明	神奈川県	都市生活	(新)
五島 満	東京都	児童	(新)
松田 明彦	高知県	児童	(新)

※(新)は新任、(再)は再任

平成21年度 事業計画

事業

1. 正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助

<1-1-1> 学生団体連合会援助(一括渡し)

平成20年度実績	17,500,000	
平成21年度予算	21,000,000	通常予算(150万増額):1,900万円 特別補正(21年度限定)予算:200万円

<1-1-2> 学科研究会等援助

平成20年度実績	500,000	5団体に各10万円
平成21年度予算	2,500,000	既存の5団体の他に、新規設立予定5団体へ(設立準備金30万×5) 学科研究会連合会設立準備金50万

<1-1-3> 一般援助

課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画地域活動、活動奨励等、及びTCUIイベントプロジェクトサポート等へ(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定)

平成20年度実績	3,662,524	(予算750万)
平成21年度予算	6,000,000	前年度の実績を考慮し減額

<1-1-4> 学生行事援助

スプリングフェスティバル、ナイトラリー、バンドフェスティバル、公開企画、特別行事等に対する補助(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定)

平成20年度実績	739,710	
平成21年度予算	900,000	前年度予算と同額を計上

<1-1-5> 団体強化援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための補助(関東リーグ3部以上相当、関東ランキング24位前後以上を目安)

平成20年度実績	900,000	前年度同額と同様に配分
平成21年度予算	900,000	ラグビー部・ハンドボール部・アメリカンフットボール部に各30万円

<1-1-6> シャトルバス援助

平成20年度実績	1,940,400	週6便分を援助
平成21年度予算	4,000,000	週34便分の援助として予算計上

東急バスからの見積内容
【月・火・木・金の後援会1日6便分】14,175円×149日=2,112,075円
【水の後援会1日10便分】59,325円×31日=1,839,075円
合計3,951,150円(全経費=35,175,525円)

路線	時間	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
横浜⇒世田谷			30	25	10	00	10	00	50			30
世田谷⇒横浜			30	25	10	00	20	00		00		30
世田谷⇒等々力	40	30	20		35	10	15	20	00			
等々力⇒世田谷	45	05	20		35	30	30	15	25			

※太字は水曜日だけの運行 ■の数字は水曜日連休する便

<1-1-7> その他の援助(21年度限定)

平成20年度実績	617,820	新校名入りテント4張等
平成21年度予算	5,000,000	新学部(等々力キャンパスの2学部)への開設記念品(モニュメント製作費用)として計上

(1-2) 学生顕彰

- 課外活動奨励賞の授与：学生表彰授賞式において、賞状及び副賞を授与
- 後援会長賞の授与：学位授与式(卒業式)において賞状及び副賞を授与

平成20年度実績	713,325	(予算80万円)
平成21年度予算	1,000,000	学術・研究系に範囲を広げ(7~10名分20万円)加算計上

(1-3) 学生生活指導援助

- 学生団体の責任者を対象としたリーダー研修会の費用の補助
- 安全教育として学生団体を中心に救命講習会の受講を義務付け、その費用の援助
- 学生(留学生を含む)の国際交流活動に対し補助
- その他学生生活指導上必要と認められる事柄

平成20年度実績	281,500	
平成21年度予算	400,000	救命講習会・テーピング講習会等へ前年度予算と同額を計上

2. 「大学と保護者との連絡会」の共催

平成20年度実績	4,610,520	本学会場(世田谷・横浜)・他20都市
平成21年度予算	5,300,000	3会場増加分として30万円加算計上

3. 大学行事への協力

体育祭・TCU横浜祭・TCU桐華祭(仮称)・TCU祭等の大学行事に援助

平成20年度実績	2,926,571	
平成21年度予算	5,000,000	前年度の内容に、TCU桐華祭(仮称)分を加え増額

4. 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための補助

平成20年度実績	2,152,524	(弓道場防矢ネット他)
平成21年度予算	1,000,000	前年度予算と同額を計上

5. 会誌の発行

後援会の会誌を年2回発行し、学内の動きを保護者の皆様に紹介するとともに、「大学と保護者との連絡会」等の案内をしております。

平成20年度実績	3,780,000	
平成21年度予算	4,000,000	前年度予算と同額を計上 誌名を「TCU-COM」に変更

6. 新入生研修行事(フレッシュャーズキャンプ)への援助

毎年4月オリエンテーション後に実施する新入生対象のフレッシュャーズキャンプへの補助

平成20年度実績	12,128,000	8,000円×1,516名分
平成21年度予算	15,032,000	8,000円×1,879名分で計上

7. 就職活動(学生キャリア)に対する援助

検査内容	対象学年	単価(円)	20年度		21年度	
			受験者数	金額(円)	受験者予定数	金額(円)
学習実態調査	1	2,100	—	—	1,900人	3,990,000
自己発見レポート	1	2,400 <small>(20年度42,300)</small>	1,497人	3,443,100	1,900人	4,560,000
自己プログレスレポート	2	2,400	1,263人	3,031,200	1,400人	3,360,000
キャリアアプローチ	3	1,000	973人	973,000	1,200人	1,200,000
SPI 2 模擬試験	3	※500	210人	105,000	1,000人	500,000
				7,552,300		13,610,000

※半額補助

運営

1. 理事会(年2回) 第1回 平成21年5月9日(土)
第2回 平成21年11月21日(土)

2. 評議員会(年1回) 平成21年5月30日(土)

3. その他

平成21年度 予算

平成21年4月1日～平成22年3月31日

科 目	平成20年度予算	平成20年度決算	平成21年度予算	平成20年度予算との比較
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	(円)
1. 会費	73,930,000	73,930,000	93,110,000	19,180,000
2. 雑収入	145,557	244,441	160,492	14,935
3. 前年度繰越金	11,824,443	11,824,443	12,029,508	205,065
収入の合計	85,900,000	85,998,884	105,300,000	19,400,000
(支出の部)				
事業費	69,328,000	59,822,342	85,642,000	16,314,000
1. 正課外教育援助費	36,100,000	26,672,427	41,700,000	5,600,000
1-1 課外活動援助費	34,900,000	25,677,602	40,300,000	5,400,000
1-1-1 学生団体連合会援助	17,500,000	17,500,000	21,000,000	3,500,000
1-1-2 学科研究会等援助	2,100,000	500,000	2,500,000	400,000
1-1-3 一般援助	7,500,000	3,479,672	6,000,000	▲1,500,000
1-1-4 学生行事援助	900,000	739,710	900,000	0
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	900,000	0
1-1-6 シャトルバス援助	2,000,000	1,940,400	4,000,000	2,000,000
1-1-7 その他の援助	4,000,000	617,820	5,000,000	1,000,000
1-2 学生顕彰費	800,000	713,325	1,000,000	200,000
1-3 学生生活指導費	400,000	281,500	400,000	0
2. 保護者連絡会費	5,000,000	4,610,520	5,300,000	300,000
3. 大学行事協力費	3,600,000	2,926,571	5,000,000	1,400,000
4. 学生厚生援助費	1,000,000	2,152,524	1,000,000	0
5. 会報発行費	4,000,000	3,780,000	4,000,000	0
6. 新入生研修行事費	12,128,000	12,128,000	15,032,000	2,904,000
7. 就職活動援助費	7,500,000	7,552,300	13,610,000	6,110,000
運営費	8,000,000	7,981,034	8,880,000	880,000
8. 事務費	4,000,000	4,193,866	4,400,000	400,000
9. 会議費	800,000	667,005	800,000	0
10. 印刷・通信費	1,000,000	1,101,559	1,300,000	300,000
11. 旅費・交通費	2,000,000	1,712,940	2,000,000	0
12. 備品費	150,000	252,630	300,000	150,000
13. 雑費	50,000	53,034	80,000	30,000
予備費(慶弔費含む)	2,572,000	166,000	4,778,000	2,206,000
特別会計	6,000,000	6,000,000	6,000,000	0
14. 後援会基本積立	0	0	0	0
15. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0
16. 学生事故対策援助費積立	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
17. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	0
小 計	85,900,000	73,969,376	105,300,000	19,400,000
次年度繰越金	0	12,029,508	0	0
支出の合計	85,900,000	85,998,884	105,300,000	19,400,000

平成21年度 緊急奨学金予算

(単位:円)

経常収入の部	平成20年度予算	平成20年度実績(決算)	平成21年度予算
前年度繰越金	13,559,539	13,559,539	14,812,745
緊急奨学金返済収入	6,529,500	1,345,500	5,248,000
利息収入	20,000	18,871	10,255
経常収入計	20,109,039	14,923,910	20,071,000
経常支出の部			
緊急奨学金貸付支出	2,680,000	0	5,360,000
貸倒損失	0	0	0
弁護士費用	0	110,010	0
雑費	2,000	1,155	2,000
経常支出計	2,682,000	111,165	5,362,000
経常収支	17,427,039	14,812,745	14,709,000

クローズアップ・スチューデント①

テニス選手として痛感した環境保護の大切さ

吉田 友佳^{ゆか}さん (環境情報学科4年)

このコーナーでは、毎回ユニークな活動をされている在学生の方にご登場いただいております。記念すべき第1回目は、元プロテニスプレイヤーで、現在本学 環境情報学部で学びながらテニス解説や日本テニス協会などで活躍中の吉田友佳さん。プロテニス引退後にあえて本学に社会人入学されたいきさつや、仕事と学業の両立、一見無関係にも思えるテニスと環境問題との関わりなどについて語っていただきました。

私が大学で学ぼうと思ったのは、それまでずっとテニスに打ち込み、プロ引退後もまたテニスだけの人生というのに抵抗があったから。いったんテニス漬けの生活をリセットし、いろんなものを吸収すれば、それを後進の指導などに活かすこともできると考えたんです。

この大学の環境情報学部を選んだのは、プロとして世界各国を転戦して、実際に肌で環境問題の重大さを体験したのが大きいでしょう。たとえばオーストラリアはオゾン層破壊の影響を大きく受けていて、紫外線がものすごく強いんです。試合のあと肌はボロボロになるし、皮はむけてしまうし、目は痛くなるし……。また中国へ行くと、今度は光化学スモッグがすごい。テニスをやっても全然気持ちよくないんですよ。次第に「いまの地球環境のなか、子供たちにテニスを勧められるんだろうか」と感じるようになりまして。そんな頃に横浜市ホームページで世界各国の環境問題を私がレポートする企画に携わり、自宅から近い本学で環境について真剣に学びたいという気持ちが固まっていったんです。

仕事と学業の両立はもちろん大変です。



2005年10月、東京・有明コロシアムで行われた「ヨネックステニスフェスティバル」。国内外のヨネックス契約トッププロが参加し、吉田さんの引退セレモニーも行われた。

解説などの仕事以外にも自身でジュニアの育成チームを持っていますし、純粋なオファはほとんどなし。しかも私、大学のテニス部にも所属しているんです(笑)。ただ1、2年で頑張った単位を取ったので、いまはゼミだけ。時間的に少し余裕もできましたね。

いま、松岡修造さんたちと日本テニス協会の環境委員をさせていただいているんですが、ここは大学で勉強したことがそのまま活かせる場所です。環境保護のメッセージ発信が基本的な目的ですが、使わなくなったボール、ラケットの再利用を呼びかけるなど、草の根的活動も行っています。

来年3月で卒業、そのあとはやはりテニスにかかわる仕事を続けていくと思いますが、この4年間大学で学んだことは絶対に活かしていきたいですね。



「私、ちゃんと大学のテニス部に所属しているんです。元プロだから試合には出られないんですけど」



先のウィンブルドンでも解説者として活躍。写真はNHK総合テレビの画面。

■プロフィール

1976年横浜市に生まれる。7歳からテニスを始め、ジュニア選手時代の1993年にウィンブルドン女子ダブルス部門(ジュニア)で望月寛子とのペアで準優勝。1994年4月プロ入り。1998年の全米オープン女子ダブルスではベスト8に入っている。自己最高ランキングはシングルス52位、ダブルス51位。2005年9月21日に現役引退を表明。2006年武蔵工業大学(現 東京都立大学)入学。現在はテレビのテニス解説やテニス指導者として活躍中。

新学部・等々力キャンパスの 学生も参加し、 大いに盛り上がる

平成21年度 体育祭実行委員長

杉田 正太郎 (生体医工学科3年)

本年度、体育祭は初日から晴天に恵まれ、2日間とも参加者にスポーツを楽しんでいただくことが出来ました。自分たちは体育祭を通じて、日頃研究室で日々勉学に励む学生たち、また学生生活が始まったばかりで日常生活に不慣れな新入生たちなど、様々な学生たちにスポーツの楽しさを知っていただきたく準備を進めてきただけに、2日間とも晴天であったことは誠に嬉しく思っています。今年は参加者の皆様にスポーツをより楽しんでいただけるように参加賞の飲料水を冷やして提供する、競技時間をできるだけ長くするなど、細かい運営に力を入れてきました。

また、今年の体育祭では東京都市大学への校名変更とともに開設された新学部・等々力キャンパスの学生にも参加していただき、大いに盛り上がりました。来年度以降はさらに3つのキャンパスが一体となった体育祭を目指せればと考えています。

さらに今年は、先生方のご協力のもと、知識工学部の新入生に体育の授業仲間と体育祭に参加していただくことができました。知り合ったばかりの学生たちが、綱引きを通じて一丸となり優勝を目指す姿は本当に素晴らしいものでした。体育祭という機会を通じて、研究室配属の先輩や課外活動を行う先輩など、東京都市大学を作り上げている方々と知り合えることは非常に有意義であると考えています。来年度は、この新入生の参加規模を拡大するだけでなく、キャンパス内にいるほかの学生や先生方が知り合える場を目指していきたいと考えています。

開催種目

● 世田谷キャンパス

卓球/バレー/相撲/腕相撲/ドッジボール/PK合戦/
ソフトボール/綱引き/3 ON 3/耐久腕立て伏せ/テニス/
ミニサッカー/キックベース/リレー/騎馬戦

● 横浜キャンパス

フットサル/ポートボール/長縄/バドミントン/バスケットボール



第13回 TCU横浜祭

「かさねいろ」

平成21年度 TCU横浜祭運営委員会 会長
加藤 達也 (環境情報学科3年)

今年度第13回TCU横浜祭は、テーマ『かさねいろ』を掲げました。この『かさねいろ』には、大学の特色でお客様を魅了し、様々な人の声が音色を奏でる活気溢れる横浜祭にしたいという思い、そしてたとえ学園祭の名称が変わろうとも過去の伝統を忘れず、その伝統の上に新たな歴史を重ねたいという思いが込められています。

私たちY.F.A.は、過去最高の横浜祭を創り上げる為に何度も議論し、試行錯誤を積み重ね、時に衝突し失敗や挫折を何度も繰り返し、1年間本気で活動してきました。この思いと日々積み重ねた努力の成果が、『かさねいろ』というテーマのもと創り上げられた今回の横浜祭です。

今年は新型インフルエンザによる影響が懸念されていましたが、その後拡大することなく無事開催することが出来ました。心配していた天候も土曜日の午後には雨が上がり、翌日は天候に恵まれて、9104名ものお客様にご来場いただきました。

学園祭の内容も『かさねいろ』のテーマに相応しく、過去最高数である30以上もの企画を実施致しました。その中でも環境系企画として、昨年に引き続き2回目となるカーボンオフセット。毎年継続して実施しているDish Return Project (DRP)。この2つの取り組みは、環境情報学部の特徴を大いに活かした横浜祭ならではの企画です。また、今年度は子ども達に楽しく環境について学んでもらえるよう体験型企画を多く取り入れました。そして本年6月に横浜市から横浜環境活動賞を受賞したことで、環境志向型学園祭として大きな一歩が踏み出せたかと思えます。

また、今回の横浜祭は、横浜祭実行委員会だけではなく、大学関係者の方々、OB・OGの方々、協力団体の方々、東横学園女子短期大学桐華祭実行委員会OGの方々、他大学の学園祭実行委員会の方々のご協力があってこそその成功だと思っております。

第13回TCU横浜祭を開催するにあたり、御支援・御協力を賜りました多くの皆様に、心より感謝御礼申し上げます。



企画内容

6月6日(土)

- 開祭式 ●ダンスフェスタ ●ビンゴ ●講演会(水谷修氏) ●野音祭 ●研究室企画展示 ●フリーマーケット ●オークション ●クイズ+ゲーム ●模擬店 ●進学相談会

6月7日(日)

- 演奏会(吹奏楽団) ●お笑いライブ ●大道芸 ●演武会 ●研究室企画展示 ●フリーマーケット ●オークション ●クイズ+ゲーム ●模擬店 ●進学相談会 ●閉祭式

フレッシューズキャンプ

「楽しいキャンプを通して都市大生の仲間入り」

都市生活学科 教授 1年担任

坊垣 和明

都市生活学部都市生活学科のフレッシューズキャンプが、4月8日～9日の1泊2日で箱根湯本ホテルを主会場として、新入生約190名に上級生、教職員が加わり、総勢220名余りの参加のもとに実施されました。新入生にとっては最初の大きな行事であり、学生同士はもちろん、学生と教員の親交を深める絶好の機会になったと思います。

等々力キャンパスでの開講式に引き続き、バスで最初の目的地小田原市川東タウンセンターに向かい、体育館で汗を流しました。入学式から日も浅く、不安と緊張の中で参加した新入生たちでしたが、クラス対抗の大縄跳びと綱引きで一気に盛り上がり、楽しいスタートを切りました。

夕方到着したホテルでは温泉で疲れをいやし、大広間で一堂に会した夕食後は、フレンドシップアワーとフリーコミュニケーションアワーでクラスを超えた交流を図り、また部活

やサークル、学生生活などの紹介と相談が行われました。翌日には、本学部とも係わりの深い新しい町「みなとみらい」の見学・研修を行いました。

全体を通して新入生にも大変好評で、成功裏に終了できました。今回は都市生活学部にとって初めてのキャンプであったことから、世田谷と横浜の上級生の支援を得ました。キャンプ成功にはこれら上級生の頑張りが不可欠だったと思います。この場を借りて深謝いたします。



大縄を息を合わせて飛ぶのはなかなか難しい



大広間での食事は壮観

日 程

4月8日(水)

- 9:00 学校集合、開講式
- 10:00 等々力キャンパス出発
- 13:00～15:00 スポーツイベント
- 16:00 ホテル到着、自由時間
- 18:00 夕食
- 19:00～20:30 フレンドシップアワー
- 20:30～22:30 フリーコミュニケーションアワー

4月9日(木)

- 9:00～10:30 クラス担任ガイダンス
- 10:30～11:30 学生生活ガイダンス
- 14:00～16:30 都市見学(横浜, みなとみらい)



二日目には「みなとみらい」を見学



みなとみらい開発の経緯や意義を学ぶ

事務局 便り

本年4月より、79年の歴史がある武蔵工業大学は、新たな校名、東京都市大学に換え、80年目を歩み始めた。名前だけでなく組織も大きく変わり、従来の工学部・知識工学部・環境情報学部併せて都市生活学部・人間科学部の文系2学部が新たに発足し、大学院生を含めて現在約7000名の学生が3キャンパスで学生生活を送っている。このような多くの学生に対して豊かな、充実した学生生活を送れるように、後援会は、学生の正課外活動に重点的な支援を行ってきており、全学生に対して新入生研修行事や将来へのキャリア活動等に対しても支援活動を行ってきている。また、後援会は大学への協行事の一つとして「大学と保護者との連絡会」を年1回秋に全国主要都市で開催しているが、本キャンパスでの出席率を含めてこの数年約20%と会員の大学への関心が多少低いように感ぜられる。連絡会に出席して大学に日頃感じている生の声をぶつけてははいかがでしょうか。



学生部長(後援会事務局長)
平井 昭司
工学部 原子力安全工学科 教授

✿◆◆平成21年度◆✿「大学と保護者との連絡会」のお知らせ◆✿

全国25ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成21年度「大学と保護者との連絡会」を下記の25会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

✿平成21年度「大学と保護者との連絡会」日程および会場

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	札幌全日空ホテル 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-2-9 (TEL 011-221-4411)
仙台	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルコムズ仙台 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-18-11 (TEL 022-265-3131)
山形	9月6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルキャッスル山形 〒990-0031 山形市十日町4-2-7 (TEL 023-631-3311)
郡山	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	チサンホテル郡山 〒963-8002 郡山市駅前1-8-18 (TEL 024-923-6711)
さいたま	9月6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	浦和ロイヤルパインズホテル 〒300-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 (TEL 048-827-1111)
水戸	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホリデイ・イン水戸 〒310-0803 水戸市城南2-2-2 (TEL 029-300-1100)
宇都宮	9月6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルニューイタヤ 〒320-0811 宇都宮市大通り2-4-6 (TEL 028-635-5511)
東京	9月26日(土)	受付開始 11:00 開催 12:15~15:30	東京都市大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 世田谷区玉堤1-28-1 (TEL 03-5707-0104)
東京	9月26日(土)	受付開始 11:00 (国営キャンパスにて) 開催 12:15~16:00	東京都市大学 等々力キャンパス (全体説明会終了後 等々力キャンパスへ移動) 〒158-8586 世田谷区等々力8-9-18 (TEL 03-5760-0104)
横浜	9月26日(土)	受付開始 10:00 開催 10:30~14:00	東京都市大学 横浜キャンパス 〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西3-3-1 (TEL 045-910-0104)
高崎	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ルートイン高崎 〒370-0052 高崎市旭町128-4 (TEL 027-327-1011)
新潟	9月6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルオークラ新潟 〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 (TEL 025-224-6111)
甲府	9月5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル談露館 〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16 (TEL 055-237-1331)
長野	9月6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルJALシティ長野 〒380-0834 長野市問御所町1221 (TEL 026-225-1131)
富山	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	名鉄トヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28 (TEL 076-431-2211)
福井	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルフジタ福井 〒910-0005 福井市大手3-12-20 (TEL 0776-27-8811)
沼津	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	沼津東急ホテル 〒410-0802 沼津市上土町100-1 (TEL 055-952-2411)
静岡	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルセンチュリー静岡 〒422-8575 静岡市駿河区南町18-1 (TEL 054-284-0111)
浜松	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	オークラアクトシティホテル浜松 〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 (TEL 053-459-0111)
名古屋	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルサンルートプラザ名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-35-24 (TEL 052-571-2221)
広島	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78 (TEL 082-502-1121)
福岡	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル日航福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25 (TEL 092-482-1111)
高知	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	高知新阪急ホテル 〒780-8561 高知市本町4-2-50 (TEL 088-873-1111)
鹿児島	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	鹿児島サンロイヤルホテル 〒890-8581 鹿児島市与次郎1-8-10 (TEL 099-253-2020)
沖縄	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ロワジールホテル那覇 〒900-0036 那覇市西3-2-1 (TEL 098-868-2222)

TCU-COM
2009.August

no.
40

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp